

年間授業計画

1年間の計画を確認した後押印

教科:(工業) 科目:(機械製図) 単位数:(3単位) 対象:(第2学年 M1組・M2組)

教科	教務	副校長	校長

教科担当者:(M1組:金子 祐治 ㊞、台 拓也 ㊞) (M2組:石井 眞 ㊞、今 大樹 ㊞)

使用教科書:機械製図(実教出版) 使用教材:基礎製図検定問題集(全国工業高等学校長協会)

	授業内容 【年間授業計画】	科目(機械製図)の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月				0
5月	○投影図について	①立体図(等角図)から投影図を描ける。 ②投影図から立体図(等角図)を描ける。	製図の基本である投影法を理解し、正確に描ける。 基礎製図検定の問題を題材に理解を含め、線の種類、正しい用法を理解し、描く。	12
6月	○断面図について ○補助投影図について	①立体図から断面を想像し、断面図(片側断面図)を描ける。 ②寸法の記入してある正面図から、スケール、三角定規、ディバイダ、コンパスを用いて補助投影図を描くことができる。	片側断面図にハッチングを施し正しく描くことができる。 示された寸法及び正面図から寸法を読み取り、正しく補助投影図を描くことができる。	12
7月	○展開図について	①正面図と平面図から、側面の展開図を想像することができる。 ②三角定規、ディバイダを正しく使い、正確な展開図を描くことができる	三角定規、ディバイダを正しく使い、寸法を正しく転写し、展開図を描くことができる。	15
9月	○第三角法による投影図について	①投影図、断面図、補助投影図、展開図を総合して、第三角法による投影図を描ける。 ②基礎製図検定を通して、基本的な図形のとらえ方と描き方を習得する。	基礎製図検定を受検し到達度を確認する。	21
10月 11月 12月	○機械要素の製図について	①ねじを通して、基本、図示、表し方、寸法記入などの決まりを理解する。 ②ボルトナットの製図を通して、総合的に機械製図の基礎を身に付ける。	手書きでボルトナットを描き、ねじの表し方、寸法記入、要素、六角ボルト・ナットの略画法の理解度を確認する。	24
1月 2月 3月	○第三角法による作図について	機械製図検定に向けた作図を行うことで、各要素の確認、や基本的描画法を習得する。	決められた時間の中で、正しい読み取り、転写、描画、寸法記入法を確認する。	21